



# 野津保

札幌市立上野幌中学校  
学校だより第9号  
令和7年度12月25日

## ◆◆2学期の成長を「優しさ」の力に変えて◆◆

教頭 一関 浩

1年で最も長い2学期が終わります。今学期、皆さんの頑張りを様々な場面で見ることができました。秋華祭などの大きな行事では、仲間と協力して1つのものを作り上げる難しさと喜びを学びました。日々の授業や部活動でも、目標に向かって粘り強く取り組む姿が数多く見られました。学級や学年の中で、声を掛け合い、支え合って成長していく皆さんの姿はとても輝いていました。

こうした「仲間との関わり」の大切さを再確認した今だからこそ、考えてほしいニュースがあります。先日、オーストラリアで「16歳未満のSNS利用を禁止する」という法律が世界で初めて成立しました。この決断の裏には、SNS上でのいじめや誹謗中傷によって、未来ある若者たちが傷つき、自ら命を絶ってしまうという、あまりにも悲しい出来事が相次いだ背景があります。「これ以上、SNSに子どもたちの命を奪われることが無いように！」という国の強い危機感の現れです。日本でも、この動きは他人事ではありません。2025年、政府や文部科学省は、SNSトラブルから子どもを守るための対策をさらに強化しようとしています。しかし、法律やルール以上に大切なのは、私たち一人一人の「心の在り方」・「関わり」ではないでしょうか。学級や学年という集団の中には自分とは考え方が違う人や、自分とは感性が合わないと感じる人もいるでしょう。しかし、大切なのは「相手がどう感じるか」を想像し、互いを尊重し合うことが一人一人の「かけがえのない命」を守ることにつながります。例えば、「人に優しいこと」とは、特別なことではありません。困っている仲間に「大丈夫？」と声をかけたり、相手のよさを見付け、認めたり、自分がされて嫌なことは、目の前でも、画面越しでも絶対にしないなどがあります。

さらに、もう一歩進んでほしいことがあります。それは、「おかしいことには、おかしいと注意できる人になること」です。誰かを誹謗中傷し、心ない発言をしているのを見聞きしたとき、見て見ぬふりをせず、「それはやめよう」と声を上げる勇気をもつことです。この「見て見ぬふりをしない勇気」こそが、傷つく人を減らし、集団の優しさを守る最も強い力となります。こうした積み重ねが、学級を「安心して過ごせる居場所」に変えていきます。誰かを傷つけるのではなく、目の前の仲間に温かい言葉を届けられる人であってほしいです。

冬休み、SNSやインターネットに触れる機会が増えるでしょう。どうか、誰かを傷つけるためにその道具を使わないでください。それよりも、身近な家族や友人に、直接「ありがとう」や「お疲れ様」といった温かい言葉を届けてみてください。3学期、また一回り成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。



## ◇◆2学期の反省と冬休みに向けて◇◆

### 1 年生代表生徒

私が2学期に頑張ったことは勉強です。私は1学期の時は勉強に身が入っていませんでした。9月になり、初めて通知表が渡されてからこのままではいけないと思い、勉強に力を入れはじめました。勉強は主にワークを3回繰り返し、知識をつけたり、毎朝6時に起きて勉強の習慣をつけたりすることで、その単元の範囲の学習を定着させ単元テストで平均点以上の点を取ることができました。他にも勉強時間が増え、机に向かうことも多くなりました。

冬休みは長期休みで授業が進まないのがチャンスだと思います。2学期から始めた勉強を続けていき、テストに臨みたいです。長期休みになるといろいろな誘惑がありますが、その誘惑に負けないよう勉強はもちろん、生活、部活動も頑張って充実した冬休みにしていきます。

## ◇◆主体的に活動した2学期◇◆

### 2 年生代表生徒

私は2学期から文化常任委員長として活動しました。また、学年では Our School Project という「私たちが主体の学年づくり、学校づくりを考える」2学年のプロジェクトチームにも参加しました。どちらの活動も主体的に取り組んだもので、自分たちで学校をつくり上げていきたいという思いで、立候補しました。生徒会活動での成果は責任をもって活動できるようになったことです。仕事をするうえでなるべくミスを減らせるように自分だけではなく、様々な先生方や同じ生徒会のメンバーに確認したり許可を取ったりして慎重に仕事を進めてきました。

学年で行っているプロジェクトでの成果は自分の状況だけではなく、2学年という幅広い視点から課題を見出し学年で成長していこうという思いで行動することができたことです。今の2学年の課題は何かを様々な人の立場になって考えながら話し合いを進めています。

今後、生徒会やプロジェクトにおいての目標は、周りの人の意見も聞きつつ、自分の考えを明確にすることです。私が文化常任委員長になったときにたくさんの先輩方に教えていただいたように、私も次の代に文化常任委員長を交代する時には、いろいろなことを教えてあげられるようになりたいです。そのために、少しずつ自分で考えて行動する力を身につけていきたいと思います。

## ◇◆2学期に頑張ったこと・3学期に頑張りたいこと◇◆

### 3 年生代表生徒

私は2学期に頑張ったことが二つ、3学期に頑張りたいことが一つあります。まず、頑張ったことの一つ目は、学業です。2学期には学力テストがあり、良い点を取ろうと、1年生の範囲からもう一度学び直しました。また今まで目を背けてきた苦手な教科の勉強も行い、苦手を無くすことにも尽力しました。点数こそあまり伸びませんでしたが、苦手意識は薄れ、ケアレスミスも格段に減らすことができました。勉強を頑張ったことで自信が付き、苦手が減り、とても良かったと思っています。そして二つ目は、学級代表の仕事です。始めは慣れない点もあり、様々な方々に迷惑をかけてしまいました。そこで私は、代表の仕事を積極的かつ一つ一つの取組を丁寧に行うことで、全員に分かりやすく伝えようと頑張りました。そして、3学期に頑張りたいことはもちろん勉強です。2学期には夜遅くまで勉強し、よく寝不足になっていました。それを続け、入試当日に休んでしまっただけでは本末転倒です。ですから3学期には、生活リズムを整え、志望校に合格できるよう勉強を頑張りたいです。

## ★★各大会、各種報告★★

### ◆ソフトテニス部 厚別区新人戦地区予選

・女子個人

2年生ペア 準優勝

2年生ペア 第3位

### ◆ソフトテニス1年生大会(男女個人)

1年生女子ペア 第3位

1年生男子ペア 第3位

### ◆バドミントン部 厚別区新人戦地区予選

男子シングルス 2年生 準優勝

### ◆第75回“社会を明るくする運動”作文コンテスト

・優秀賞 2年生

・会長賞 2年生

・区長賞 1年生



## ★★紀伊国屋書店の本のPOP掲示★★

11月23(日)日まで約1か月の間、紀伊国屋書店厚別店で第1学年の国語科の授業で作成した本のPOPを掲示していただきました。どの作品もお客様の目を引き、実際に多くの方がその本を手にとったり、購入したりと書籍の売り上げに貢献しました。



### <12月行事予定表>

12月25日(木) 終業式、完全下校(部活動停止)

12月26日(金) 冬季休業(～1/14まで)

### <1月行事予定表>

1月15日(木) 始業式、各種報告、完全下校  
(再登校 16:45)

1月19日(月) 全協、常任委員会(1月定例)

1月22日(木) 完全下校(部活動停止)

1月26日(月) 完全下校(再登校 16:45)

### <2月行事予定表>

2月3日(火) 常任委員会(2月定例)

2月4日(水) 1年総合学習交流会(5～6校時  
体育館) ※保護者、小学生参加

2月5日(木) 2年総合学習交流会(5～6  
校時 体育館) ※保護者参加

## ★★吹奏楽部が地域の行事に参加★★

吹奏楽部が12月20日(土)にノホロの丘小学校で開催されたぺったんFesに招かれ、演奏を披露しました。部員たちは親しみやすい曲目を演奏し小学生から年配の方々まで、会場全体を巻き込むような一体感あるステージを作り上げ、惜しみない拍手が送られました。

演奏後、振るわれたお餅をいただきながら、交流を深めました。



## ◆◆冬休みエコライフレポートについて◆◆

札幌市では、地球温暖化防止のため、冬の節電や省エネを推奨しています。この冬休み、家族みんなで「冬のエコライフ」に取り組んでほしいです。例えば、「無理のない範囲で暖房の設定温度を下げる」「使っていない電気を消す」などがあります。皆さんの工夫したアイデアを楽しみにしています。冬休みが終わりましたら、振り返りを報告(入力)する予定です。

## ◆◆雪かきチョボラ・雪遊びチャレンジ◆◆

冬休み中、「雪」に親しみながら運動をする習慣をつけると共に、地域のために、ぜひご家庭で活用、挑戦してください。案内文及び記録用紙を配布しております。記録用紙は10回の雪かきが終わりましたら、体育常任委員へ提出してください。



## ◆◆お知らせとお願い◆◆

○冬季休校日について

12月27日(土)～1月6日(火)は休校日となります。この期間中と土日祝日は終日転送電話が設定されます。それ以外の平日は冬休み中に限り、8:30～16:30の間は通話が可能です。

## ◆◆有意義な冬休みを◆◆

明日から冬休みが始まります。生活リズムを崩すことなく、計画的・自主的に学習を進めることができるようにご家庭でもお声かけください。また、怪我や事故のないように安全にお過ごしください。今年は大変お世話になりました。来年もよろしくお祈いします。